

平成27年度  
地域の“まちづくりびと”養成講座  
入門編

# またまた大作戦

## まちのスキの育て方

### 第3回

#### 『まちの魅力発見企画をつくろう①』

日程：平成27年12月12日（土）

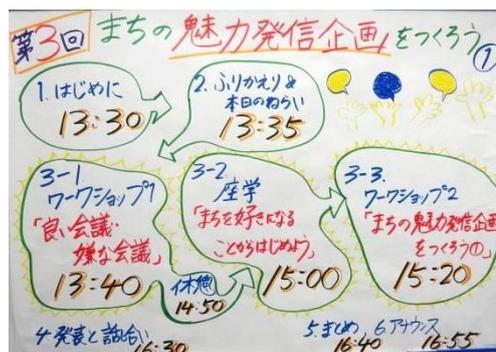
時間：13時30分～17時00分

場所：愛知学院大学

名城公園キャンパス

12月12日の午後、北区の愛知学院大学名城公園キャンパスにて「平成27年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編」の第3回講座が開催されました。

この講座は講師の名畑恵さんと名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、北区役所、当センターで実行委員会をつくり、講座全体の企画・運営を行っています。

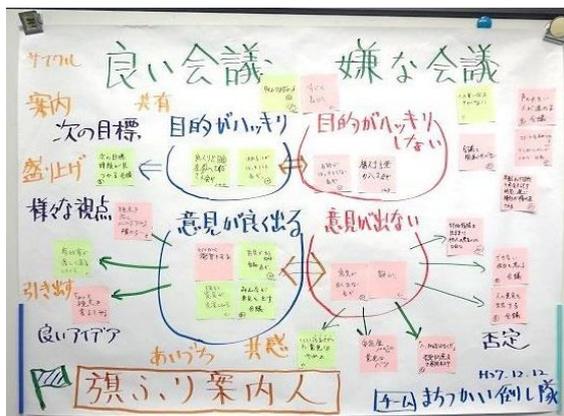


第3回講座の時間割

### ■ワークショップ1「良い会議・嫌な会議」

これまで講座のワークショップを通して行ってきた進行役や書記役などの「ファシリテーターとは？」を分かりやすく言い換える言葉を考えるワークショップを行いました。まず、今回の講座や仕事、地域活動などで経験してきた良い会議と嫌な会議の意見をふせんに書き出し、模造紙へ整理していきました。そして、整理していく中から見えてくるファシリテーターの役割とは何かについて議論し、言い換える言葉を発表しました。

チーム名	ファシリテーターを別の言葉で言い換えると？
縁側大好きチーム	導く人～話のおとしどころを見極められるナビゲーター田原さん～
きたにゃん	こんなこといいニャーできたらいいニャー
まちつかい倒し隊	旗ふり案内人
5班じゃないよ、ライスだよ	“初めと” 終わり良ければすべてよし
もやもやハッピー	千手観音



グループワークで作成した模造紙と発表の様子

## ■座学「まちを好きになることから始めよう」

講師より、まちの魅力を発信する企画を考えるうえでの事例として、自身が取り組まれている中区長者町にある「錦二丁目まちの会所」での活動について話されました。

昔の長者町界隈の地図を見ると、一つひとつの町屋の真ん中に共有空間として生み出した会所が設けられており、その会所という宝を引継ぎ、まちのみんなが寄り合える場所として開設しました。拠点のある長者町は当時、繊維問屋街として栄えた場所でしたが、産業構造が変わるにつれて衰退し、町内会や協同組合などの組織の結び付きがバラバラな状態でしたが、まちのみんなが立ち上がり、活動を始めました。

その活動のひとつが「長者町カルタ」です。まちを好きになってもらうことを目的に、魅力を発信する企画として始めました。長者町の長老が語るまちの記憶や物語、まちに眠っている宝をカルタの札にすることで、地域の人に愛着を持ってもらい、子どもが簡単に遊びながら地域学習や次世代まで物語を語り継ぐことが出来るよう制作しました。制作過程では「カルタ制作のための語り会」を組み込み、制作後は物語の語り手を交えたカルタ大会を行い、愛着を生む仕掛けを進めました。

これらにより、ゆるキャラや法被の制作など、自発的に活動するまちの担い手が育ったことを話しました。また、何のために活動するのか目的を持ち、各々が活躍できる場をつくることで、まちのみんなが主人公であるという感覚を引き出すことが大切であると伝えました。



## ■ワークショップ2「まちの魅力発信企画をつくらう①」

これまでのワークショップやまち探検で見つけたまちの魅力や課題を踏まえて、「北区の魅力を発信する企画」を考えるためのグループワークを行いました。どんなまちにしたいかを「企画の準備シート」とした模造紙を用意し、実現したいまちの姿や克服したいまちの課題、それに対するしかけを挙げていきました。

企画の準備シートが完成させた後は、企画として実現したいことをいくつか選び、「企画シート」へ企画の対象者や期待できる効果を記入し、具体化していきました。



ワークショップ2の様子

## ■発表

ワークショップ2により制作した企画シートをもとに、北区の魅力を発信する企画をグループ毎に発表しました。

### 「縁側大好きグループ」

#### ■目標

縁側を作り、人の輪をつなぐ

#### ■ターゲット

地域を問わず老若男女

#### ■しかけ

- ・お祭り（お化け、盆踊り）
- ・歴史のクイズラリー
- ・北区の魅力をまとめた本の作成 など

#### ■期待できる効果

人が集まって愛着が出る、地域の資産が後世に残る



縁側大好きグループの発表の様子

### 「きたにゃん」

#### ■目標

人のロータリーをまちの縁側に！

#### ■ターゲット

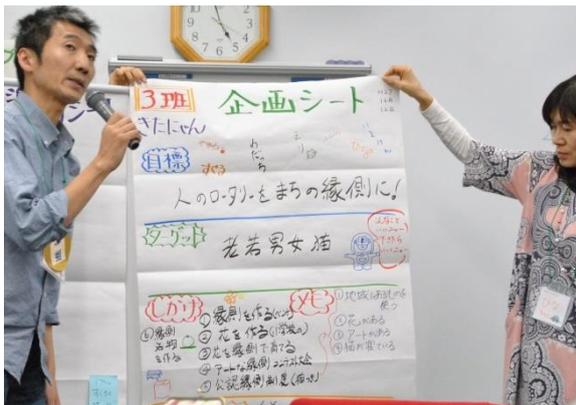
老若男女、猫

#### ■しかけ

- ・花とアートと猫が常にある縁側づくり
- ・公認縁側制度
- ・縁側名物の食べ物づくり など

#### ■期待できる効果

- ・まちに愛着と誇りが持てる
- ・子どもと地域の人々がつながれる など



きたにゃんの発表の様子

### 「まちつかい倒し隊」

#### ■目標

みんなで湧水を使い倒せ

#### ■ターゲット

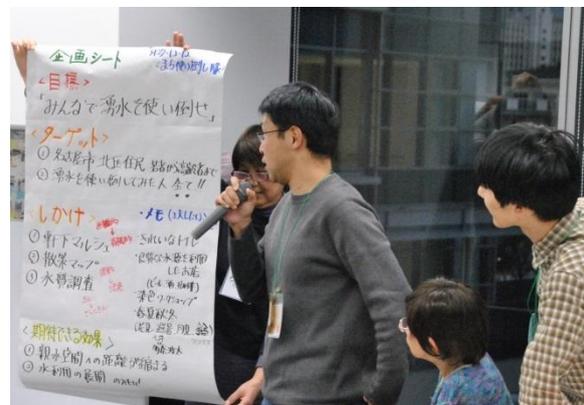
- ・名古屋市北区住民 若者から高齢者まで
- ・湧水を使い倒してみたい人 全て

#### ■しかけ

- ・黒川インターで軒下マルシェ
- ・黒川の散策マップ
- ・湧水の水質調査

#### ■期待できる効果

親水空間との距離が縮まる、飲み水などの水利用の展開



まち使い倒し隊の発表の様子



5班じゃないよ、ライスだよの発表の様子

## 「5班（ごはん）じゃないよ、ライスだよ」

### ■目標

家の外に出て、まちを周ってもらおう！

### ■ターゲット

- ・何かを自慢したい人
- ・恥ずかしがり屋

### ■しかけ

軒先博覧会…軒先にあるものを自慢しよう

### ■期待できる効果

まちに人が出て来て、まちを周り自慢できる

## 「もやもやハッピー」

### ■目標

柳原通商店街からもり上がろう！

### ■ターゲット

- ・地元の人々（老人、子ども、障がい者）
- ・愛知学院大学の学生

### ■しかけ

- ・コンテナショップ
- ・閉店した商店の活用
- ・商店街マップ

### ■期待する効果

地元の人達がつながり盛り上がることで、外からの人達も集まる



もやもやハッピーの発表の様子

## ■まとめ

講師より、良い会議・嫌な会議の発表やワークショップの様子を踏まえて、まちづくりの作法の重要なポイントのまとめを示しました。

### ★まちづくりの作法 7か条★

- ①準備をきちんとしよう ～会場準備と資料の準備、目的に合った参加者集め～
- ②時間の管理をきちんとしよう
- ③出すぎない黒子が大事
- ④意見の違いも相乗効果に変えよう
- ⑤自由なつぶやきを発する事ができる
- ⑥見える化が大事
- ⑦雰囲気づくり ～きずなをひたされた信頼関係づくり～

また、グループワークから出た「みんなが千手観音」という言葉を挙げ、ファシリテーターは役割ではなく、まちづくりに参画するうえでみんなが身につけたい素養。みんなが千手観音の手のひとつとなり、信頼関係を築き、みんなで結果を出すということが大切であると話されました。

最後に、次回講座の案内やアンケートの記入を行い、第3回の講座を終了しました。